【例題１】池田由之が兵庫県の某所で所領をもらって自分の居所を築く

倉敷市歴史資料整備室所蔵徳山家文書１２

一慶長六年十一月三日、□播州ニ壱万弐（貳）千石□□□□□□、都合

□□□□□致拝知候、扨又為□御意佐用郡□□ニ屋敷構ヲ

取堅申候、此時従□□□□御役人三百御雇シ□□□、普請

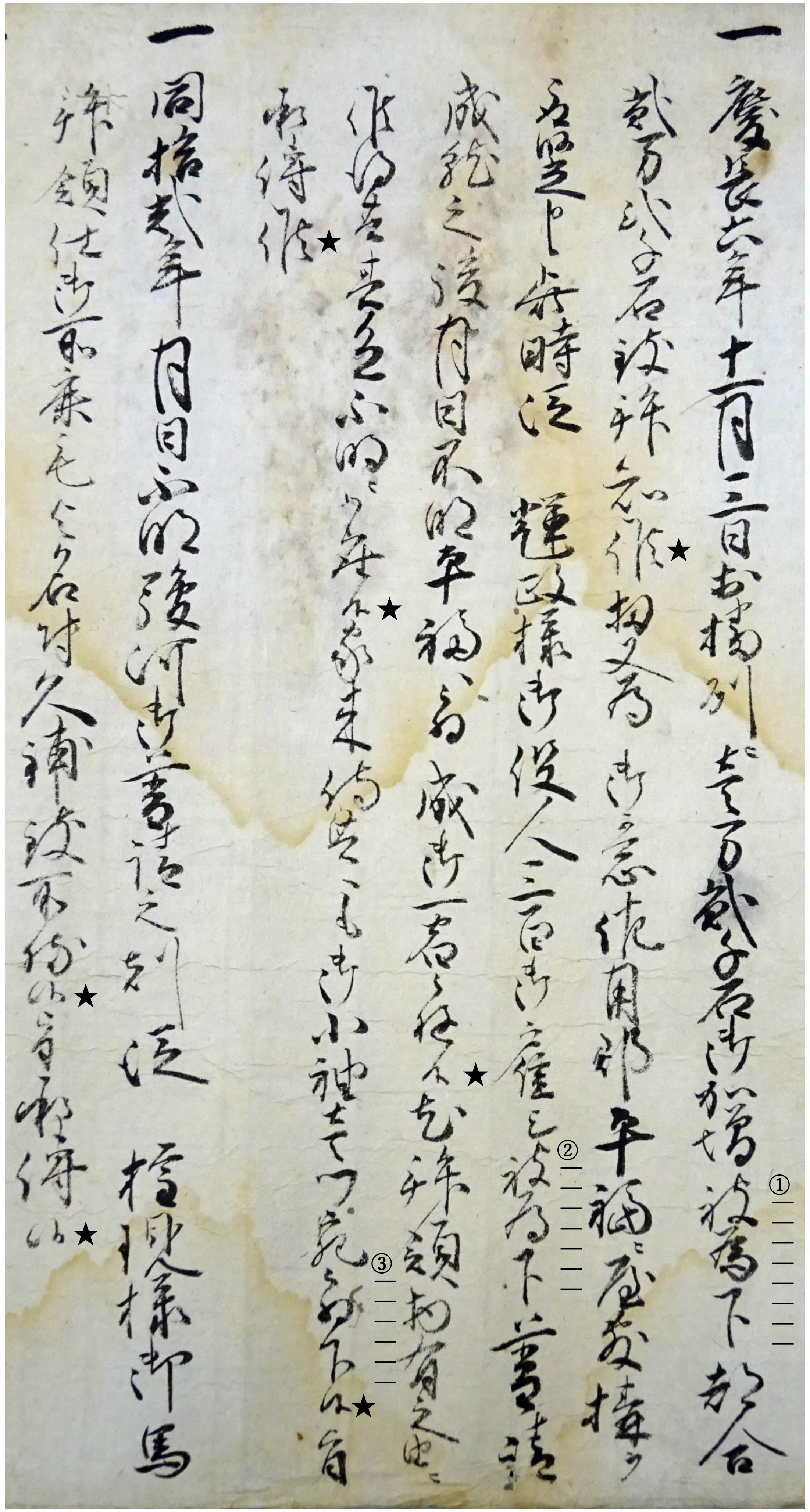
成就之後月日不明、平福へ被為成御一宿被遊候、尤拝領物有之由ニ

候得共其色不明ニ御座□、家来侍共へも御小袖壱つ宛□□□□旨

承伝（傳）□

一同拾弐年□□□□、駿河□□之刻、□□□権現様御馬

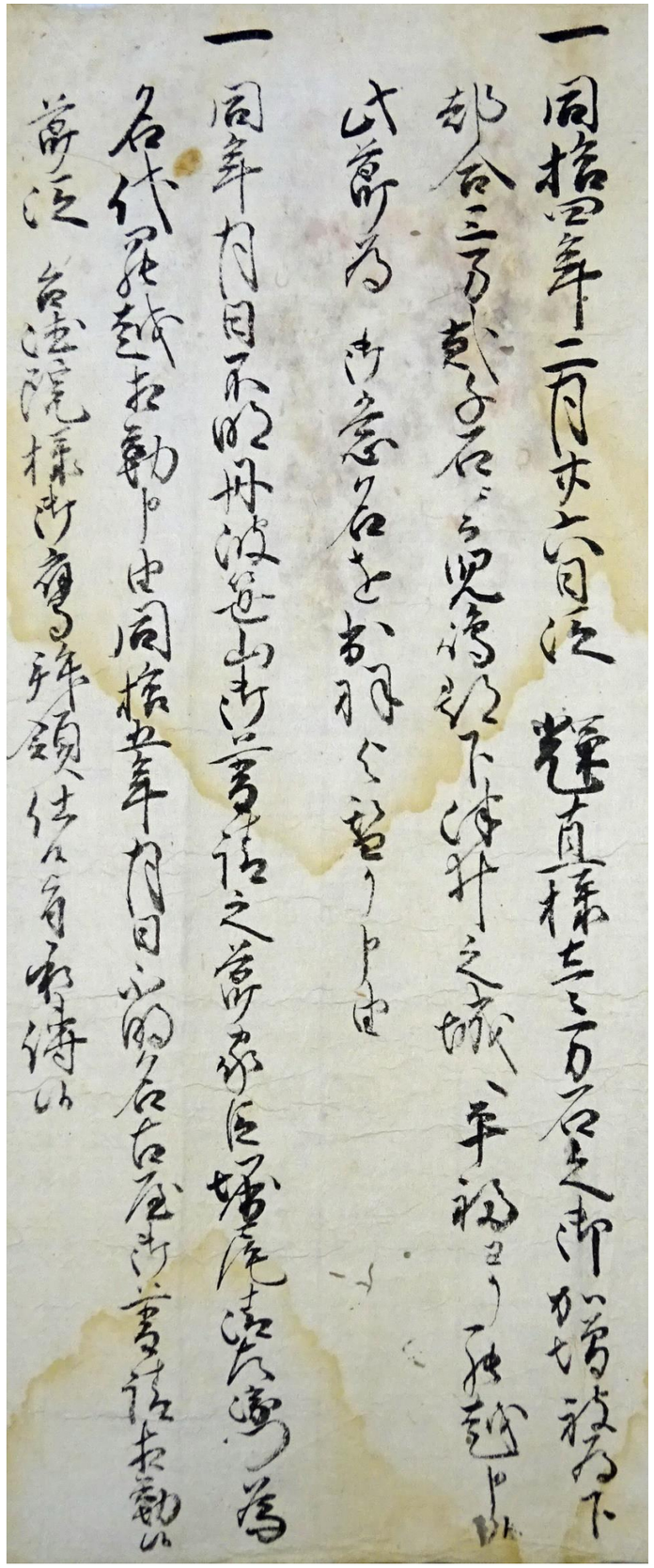
□□□、御所鹿毛与名付、久鋪致□持□旨



（ヒント）

・①②③は全て同じ文字列（3文字）です。

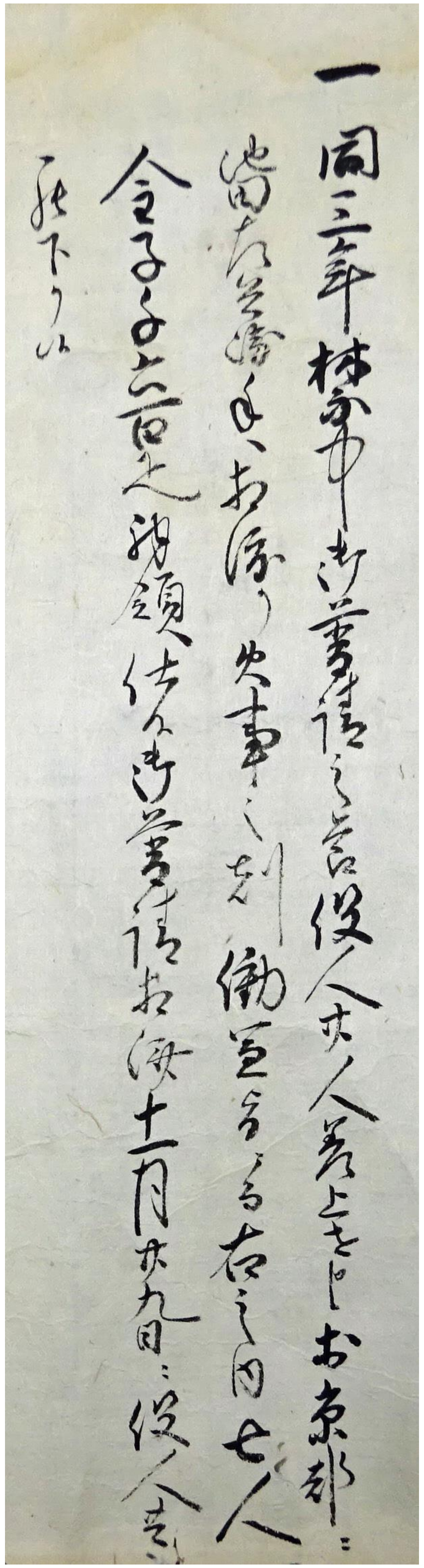
・★マークの字は全て同じ文字です（1字）。



此節、従台徳院様御鷹相勤、出羽与替り申由、家臣堀尾清左衛門、二而、罷越申候、

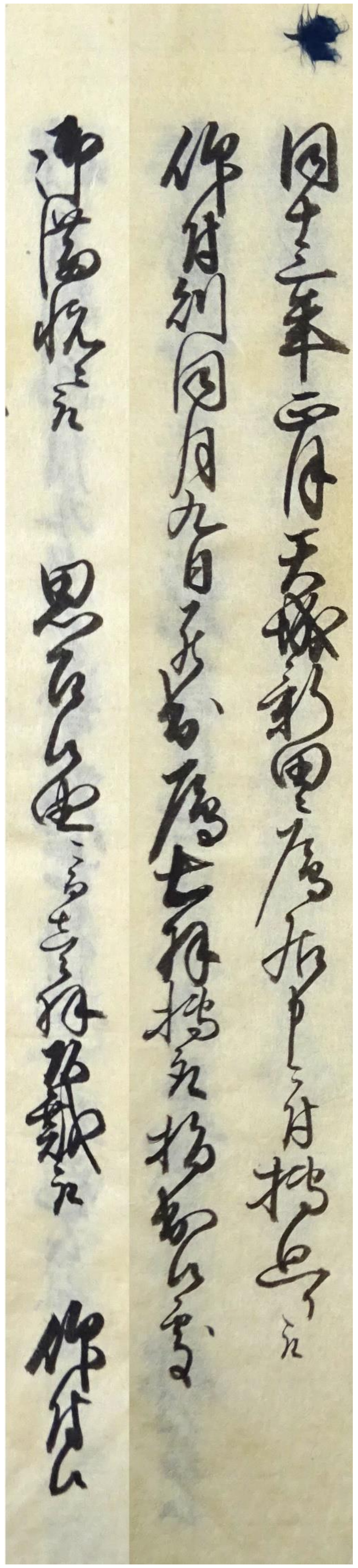
【例題３】池田由孝が御所へ人員を手配する

倉敷市歴史資料整備室所蔵徳山家文書１２

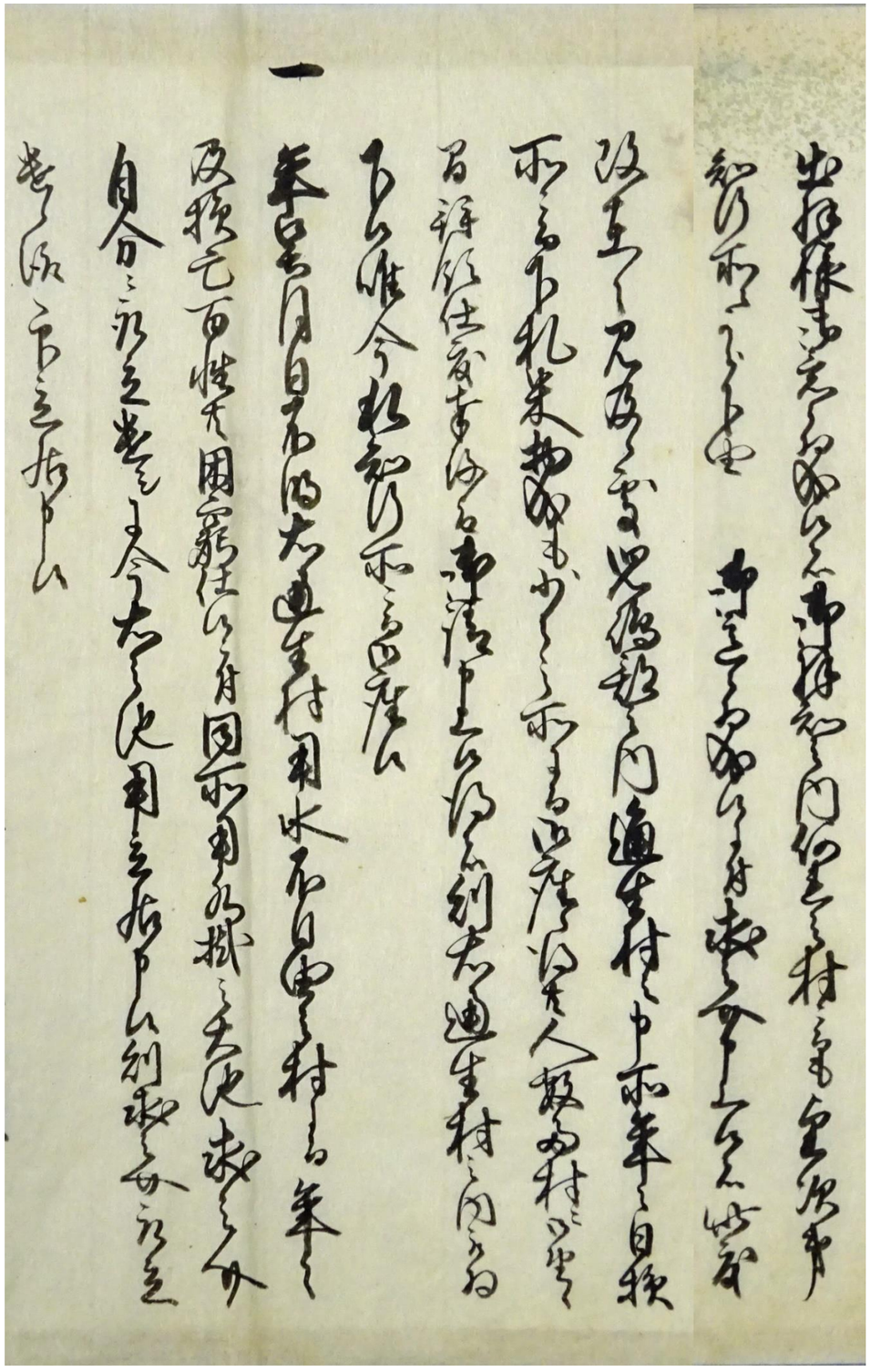


【例題４】徳山左兵衛三傑が動物を撃つ

倉敷市歴史資料整備室所蔵徳山家文書７



一同十三年正月、二雁（鳫）居申二付、搏廻り被
仰付、則、七羽指出、
御満悦二被思召候由二而、頂戴



【例題５】徳山氏が池田由成に倉敷市内某所を所領として希望する

倉敷市歴史資料整備室所蔵徳山家文書７

出羽様、御拝知之内何れ之村二而も望次第ニ可被下由、御意被為成候に付、求之介申上候者、此度遣之趣、印

自分ニ取立遣シ、尓今右之池用立居申候、

百性（姓）共困窮仕候ニ付、同所

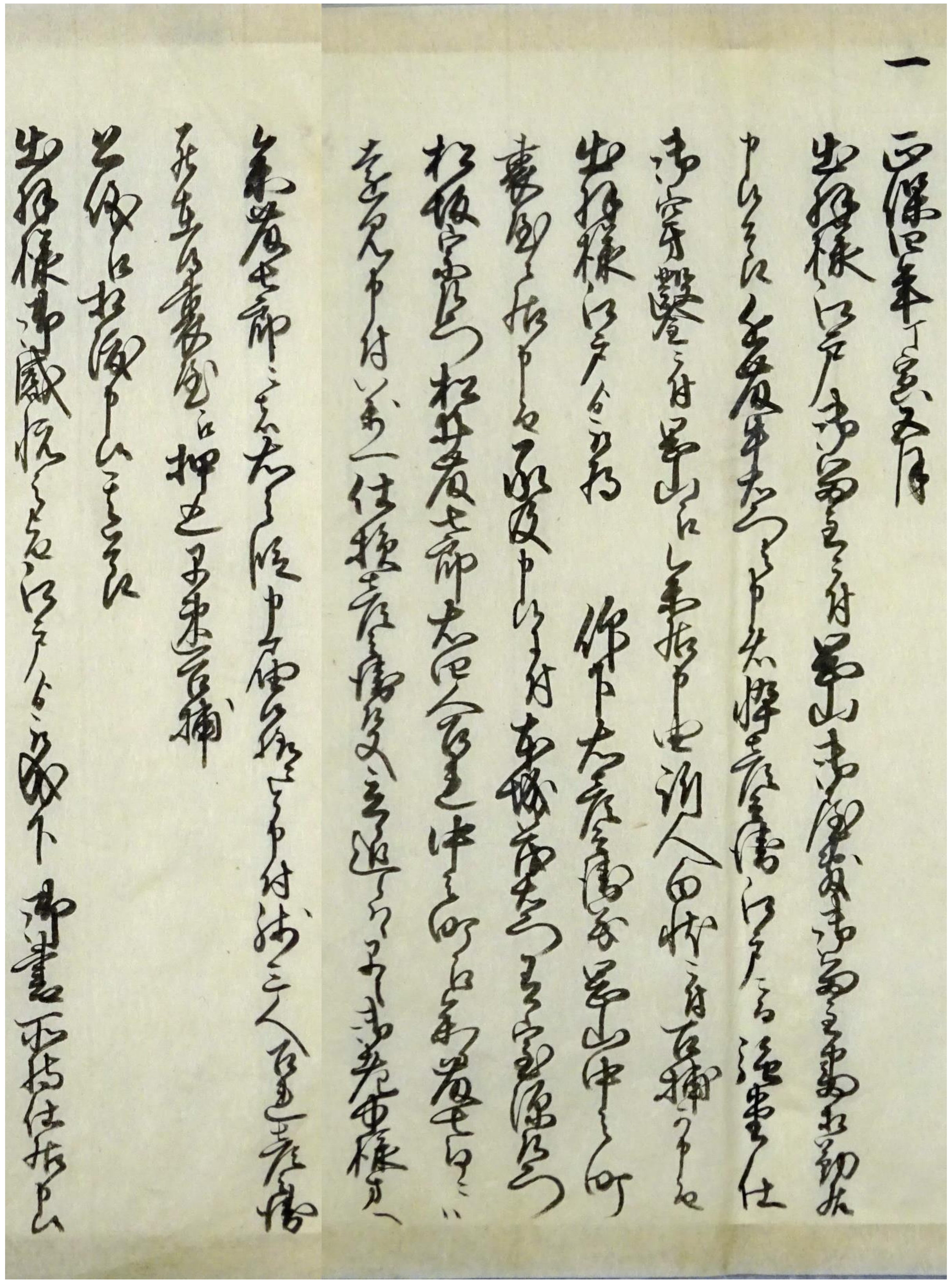
一年号下候、唯今私

間、度奉存候由

所下札米・物成も少々之所に而御座候得共、人数多村ニ御座候

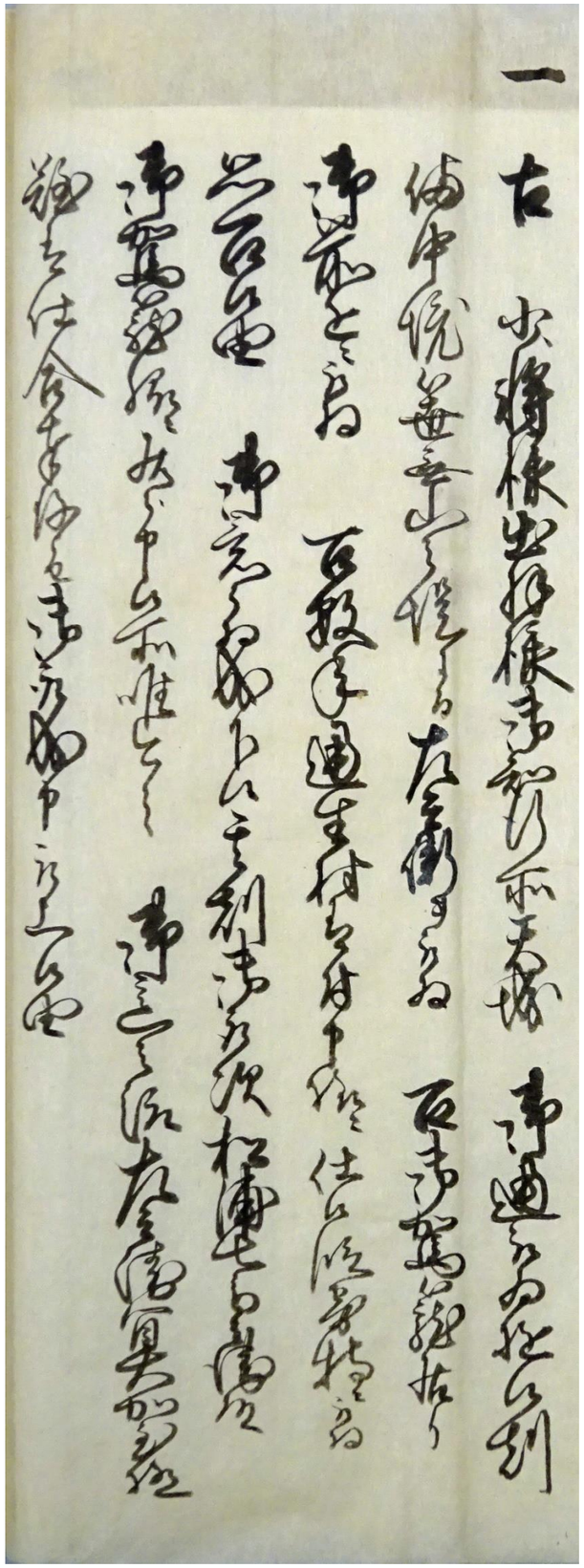
改在々見及候処（處）、

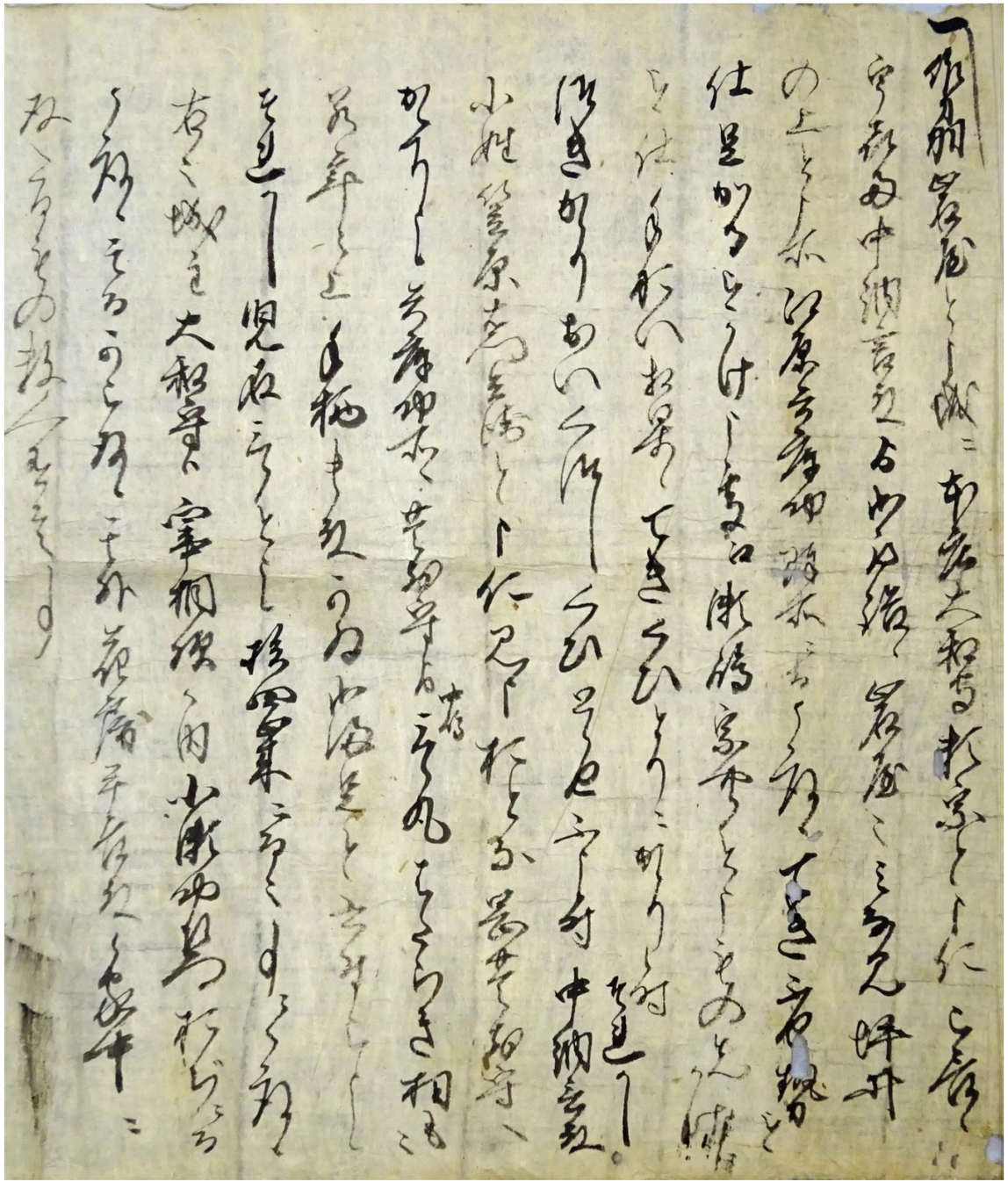
知行所ニ可被下由



【例題６】徳山氏が犯罪者を逮捕する　倉敷市歴史資料整備室所蔵徳山家文書７

一
正保四年丁寅五月
御留主二付、岡山　相勤居
申候節、近藤牛右衛門与申者悴彦兵衛、江戸二而強堂（党）仕
御穿鑿二付、　訴人白状二付、召捕可申候由
　ゟ　、右　義
裏屋二居申候由承及申候に付、本城茂　・有室源左衛門・
松坂宗　・松井藤七郎右四人召連中之町江参、　二ハ
遠見　、万（萬）一仕損　事（吏）立退候ハヽ早々御老中様方へ
参、　二者右之段申届候様二と申付、残三人　衛
公儀江相渡申候、其節
之旨





一作州岩屋と申二本庄大和守頼宗と申仁被居候、
の上と申所、江原兵庫助陣所ニ而御座候、てきふせ勢を
仕、足かるをかけ申処江、瀬島宗四郎と申もの先かけ
を仕、手おい相果候、
つきかゝり、くひとらせ不申候時、中納言殿
小姓笠原右衛門見申、おとな豊前守へ
かたり申候、
若年之上、手柄貴殿可為御満足と書付被申候、
児名と、拾四歳ニ而之事ニ、
右之、幸相様御内小瀬おぢニ而
存たるもの数人有之候、
、定而、其外花房平吉殿
殿ゟ御取詰候、之ミなみ坪井